【商業科】　３年次　【選択】科目「財務会計Ⅱ」授業のシラバス

１　概要

教科名	商業	科目名	財務会計Ⅱ	単位数（コマ数）	２（１０５）
科目の目標	１・２年次の学習を基に企業会計に関する法規、制度や財務諸表の作成に関する知識と技術を習得させ、合理的な会計処理を行うとともに、財務諸表を理解し活用する能力と態度を身につける。				
教科書(出版社)	財務会計Ⅱ（実教出版）			副教材(出版社)	全商会計実務検定試験テキスト　財務諸表分析　九訂版（実教出版）

２　学習の方法

(1)　予習について

予習の必要はありませんが、財務会計Ⅰの知識が必要です。いまいちど財務会計Ⅰで学習した仕訳を勉強しておきましょう。

(2)　授業について

毎時間授業に集中してください。疑問な点は遠慮無く質問してください。
電卓、教科書、問題集は必需品です。万が一忘れた場合は、朝のうちに教科担当の先生に申し出てください。
授業の理解度を知るために、小テストを実施します。定期的にプリントや問題集の提出を求めます。

(3)　復習について

授業の復習を怠ると全く面白くない授業になります。授業で解いた問題の解き直しや教科書例題の見直し等を、その日のうちに必ず行ってください。

〈学習アドバイス〉
とにかく復習あるのみ。復習を万全にして得意科目にしてください。また、文字、数字を丁寧に書くよう心がけてください。

３　評価について

(1)　評価の観点

観　点	趣旨
①　関心・意欲・態度	財務会計および監査について関心を持ち、その理論と技術の習得を目指して意欲的に取り組むとともに、会計情報を提供し、活用しようとする態度を身につけている。
②　思考・判断・表現	新しい会計基準や財務会計の基本概念について、なぜ、そのように考えて処理を行うのかなど自ら思考を深め、高度な知識と技術を活用して適切に判断する能力を身につけている。また、その成果を会計情報の提供および活用という形で適切に表現することができる。
③　技能	新しい会計基準に関する会計処理の技術を身につけ、ビジネスの諸活動を計数的に把握し、的確に提供・活用することができる。
④　知識・理解	新しい会計基準やその処理に関する知識を身につけ、財務会計の基本概念や監査について理解している。

(2)　評価の方法（以下観点①～④は「(1)　評価の観点」と対応する）

評価材料 / 観　点	割合	定期考査・確認テスト		小テスト	提出物	課題
①　関心・意欲・態度	１０％	◎	学年末に財務諸表の情報活用を理解しているかどうかを確認するためにキャッシュフロー計算書の作成問題を課題として提出してもらいます。			◎
②　思考・判断・表現	３０％	◎		○	○	
③　技能	３０％	◎	全商会計実務検定レベル	○	○	
④　知識・理解	３０％	◎	全商会計実務検定レベル	○	○	

〈担当者からのメッセージ〉
授業をしっかり受けてください。
家庭学習の習慣をつけましょう。特に復習が大切です。

【商業科】　３年次　【選択】科目「財務会計Ⅱ」授業のシラバス

４　授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考査等
前期 4	第１編　総論	9	財務会計の基本概念 資産負債アプローチと収益費用アプローチ 会計基準の国際的統合	① ② ③ ④	財務諸表の構成要素など財務会計の基本概念の学習に興味を示し、自ら進んで学習しようとする態度が見られる。 財務諸表の構成要素の定義がなぜ必要であるのか、その理由を考えている。 近年の会計基準の国際的統合の状況、特にＩＡＳＢ（国際会計基準審議会）が逐次公表するIFRS（国際財務報告基準）の動向などを検索し、分かりやすくまとめることができる。 財務会計の基本概念を理解している。	
5 6	第２編　各論	12 12	資産会計 負債会計 純資産会計 リース会計 税効果会計	① ② ③ ④	資産の評価基準や評価方法の理解に高い関心を持ち、特に減損の会計処理の学習を積極的に進めようとしている。 負債の評価ついての基礎理論を考え、社債や退職給付引当金などの評価に当たり、適切な判断ができる。 新株予約権の記帳法や分配可能額の計算方法などを習得した。 ファイナンス・リースとオペレーティング・リースそれぞれの取引の特徴を理解し、その取引に合った会計処理方法を理解できている。	前期中間考査
7 8	第３編　各論２	12 6	外貨換算会計 キャッシュフロー計算書	① ② ③ ④ ① ② ③ ④	外貨換算会計の内容に高い関心を持ち、その記帳法の学習を積極的に進めようとしている。 外貨換算会計についての基礎理論を考え、外貨建取引発生日・決済日・決算日の会計処理について適切な判断ができる。 外貨建取引の発生日・決済日・決算日の記帳法に習熟している。 外貨建取引の意味を理解している。 キャッシュ・フロー計算書に高い関心を示し、その作成法の学習を積極的に進めようとしている。 キャッシュ・フロー計算書についての基礎理論を考え、表示区分や表示方法などに関して適切な判断ができる。 直接法および間接法によるキャッシュ・フロー計算書の作成法を習得した。 キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性を理解している。	
9 後期 10	第４編　各論３	12 15	企業連結会計 連結財務諸表の作成	① ② ③ ④	企業結合会計の意味および合併会計の理解に関心を高め、その学習を積極的に進めようとしている。 企業結合会計についての基礎理論を考え、合併の会計処理について適切な判断ができる。 吸収合併における会計処理を習得した。 企業結合会計、特に吸収合併における会計処理を理解した。	前期期末考査
11	第５編　財務諸表の活用	15	財務諸表の活用	① ② ③ ④	企業グループの現状を把握するためには、どのようにすればよいかに高い関心を持ち、インターネットなどにより、その学習を積極的に進めようとしている。 有価証券報告書などから企業グループの現状を考え、適切な判断ができる。 企業価値の計算に習熟している。 株価の判断材料に関する基礎理論を理解できている。	
12 1	第６編　監査と職業会計人	9 3 計 105	監査と職業会計人	① ② ③ ④	会社法および金融商品取引法に基づく監査について高い関心を持ち、積極的に学習を進めようとしている。 二つの法律とそれぞれの監査の異同について考えようとしている。 監査のプロセスと監査手続について、それぞれの実務の様子を習得できている。 財務諸表監査の目的とリスク・アプローチの必要性について理解できている。	後期中間考査

※　観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は技能、④は知識・理解を表しています。
※　授業計画は進度により前後することがあります。